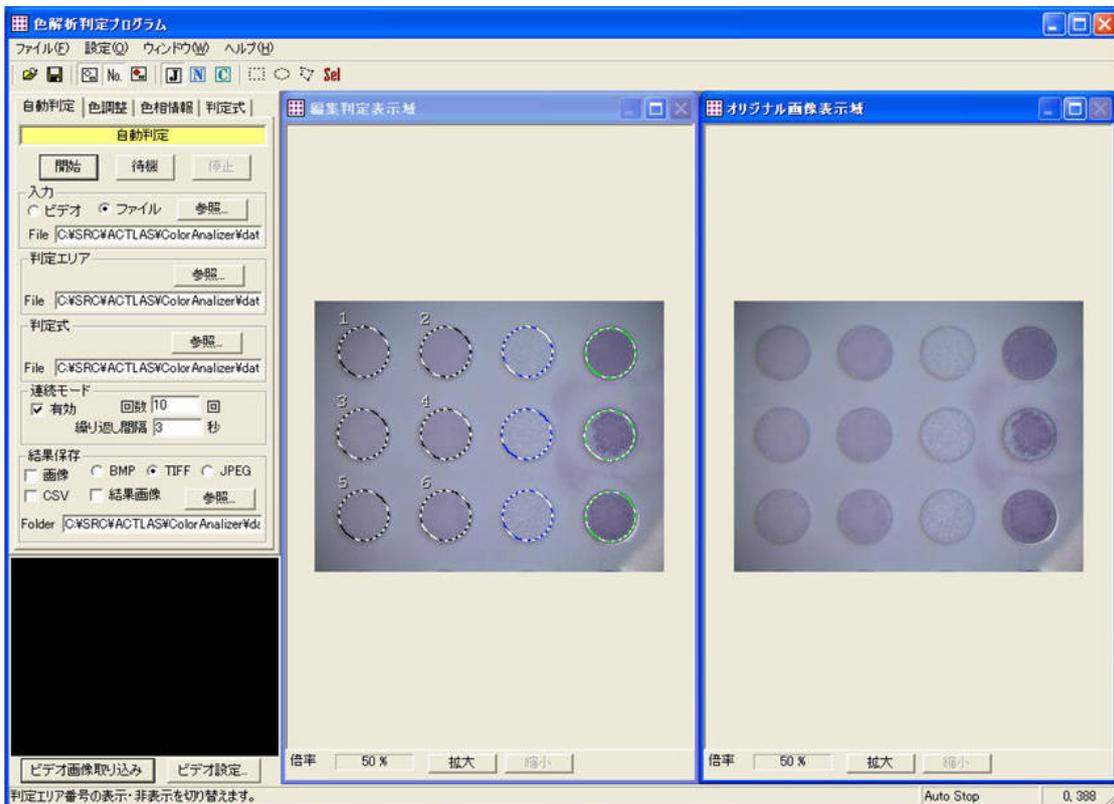


Color Analyzer

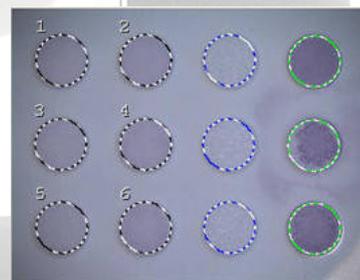
Color Analyzer は、CCD カメラからのビデオ画像や静止画像ファイルについて、指定されたエリアに対し色変化を解析、および合否判定を行うソフトウェアです。



機能

■エリア作成

作成できるエリアには、判定エリア、無色エリア、色付きエリアの3つが選択できます。判定エリアは黒と白の点線、無色エリアは青と白の点線、色付きエリアは緑と白の点線で囲まれます。エリアの作成は、矩形エリア、楕円エリア、ポリラインエリアの3つの指定ができます。「編集判定表示域」ウィンドウ上にマウスカーソルを移動し、マウスの左ボタンを押しながら、ドラッグすることで、エリアが作成できます。





■色調整

上側のスライダーは、0～255 の範囲で、中心となる値を決めるものです。中心位置を左に移動することにより、個々の色が強くなり、右に移動すれば、色が弱くなります。

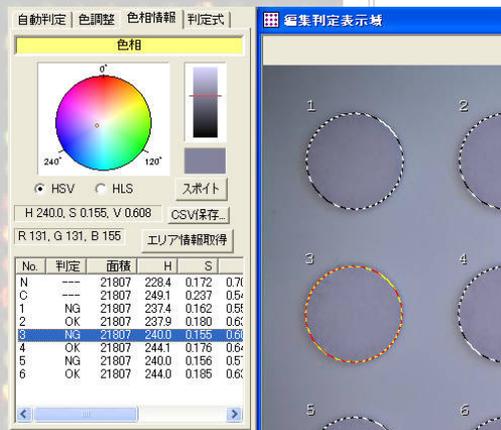
下側のスライダーは、0～128 の範囲で中心から前後の幅を指定します。幅を狭めることで、コントラストが強くなります。

■色相情報

色相環および色強度を表示します。

色相環は、H (Hue angle) の色相角度と、S (Saturation) の彩度(最大1.0の半径)で、図にしたものです。選択した色の、H、S により、小さな丸印の位置が、その色の色相環上の位置であることを、表しています。

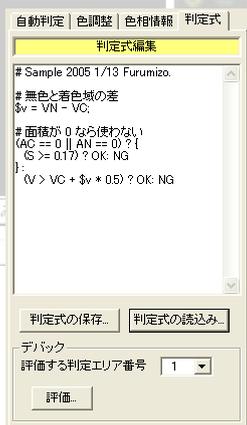
色強度は、その色での明度の位置に、横線が引かれます。その下には、実際の色が表示されます。



■判定式

判定条件は判定式により任意に設定できます。

判定式は、各判定エリアごとに、そのつど評価されて、合否判定の結果となります。判定式には各エリア内の、色相角度(0～360度)、HSV 形式の S 彩度(0～1.0)、V 色強度(0～1.0) HLS 形式の S 彩度(0～1.0)、L 色明度(0～1.0) RGB 値の R (0～255)、G (0～255)、B (0～255) 面積(Pixel)などが指定できます。



■仕様

入力画像	ビデオ入力、画像ファイル(JPEG、BMP、TIFF、PNG※) ※Loadのみ
エリア作成モード	矩形、楕円、ポリライン
エリア指定	判定エリア、無色エリア、色付きエリア
色相環	HSV/HLS

■推奨動作環境

CPU	Pentium または互換プロセッサ
OS	Windows Me / NT4.0 / 2000 / XP
メモリ	32 MB 以上
ハードディスク	2 MB 以上の空き領域
モニタ	1024 × 768 以上の解像度で、256 カラーを表示可能なもの

ACTLAS

株式会社アクトラス

●このカタログに記載された仕様、デザインなどは、予告なしに変更する場合があります。

ご使用の際は「取扱説明書」をよくお読みになった上で正しくご使用下さい。